

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	利用者の心身の衰えや気候の事もあり何かのついでに外へ出かける事はあっても職員配置の関係からも安全な外出の支援には限界がある。	月間のメインイベントとして年間3回は目的地を設定して外出レクの企画をし取り組む。この間においてもスタッフ間でも課題意識としており次年度の目標値にも担っている。	当ホームの近隣に公園があり、昨今トイレもバリアフリー化の改修工事も行い高齢者に優しい作りになった事もあり気候を見ながら気軽に散歩して頂ける機会を確保し、歩行困難な方には車椅子使用にて安全に移動出来る配慮も行う。	6ヶ月
2	3	①運営推進会議の開催頻度については年間開催実績が少ない。 ②家族様の出席者が毎回同じ方になる傾向がある。	運営推進会議が諸規定の通りに2ヶ月に1回の開催頻度を保ち当該会議場に於いて活発な意見や提言を頂戴し運営に反映する。	当ホームの併設事業が多数あり、他の地域密着型サービスもある事から運営推進会議の開催要綱策定が困難する場面もあり地域密着型サービスの各部門の責任者による合議を行う事により時期の見直しや重複感を減らし構成員の中には地域役員等の重複出席者に対する負担軽減も考慮し年間を通じて早いスパンで開催スケジュール調整を行い開催頻度の確保と参加促進へと繋ぐ。	12ヶ月
3	2	積極的な地域交流は常に意識して取り組んでいるが特別養護老人ホームを母体とした法人であり本体施設等を通じた交流企画や受け入れとなっている部分がある。	従前に取り組んで来た地域との絆や連携作用を更に効果的に発揮し今後はグループホーム独自のオリジナリティーを加えた取り組みを視野に入れる。	グループホームに地域の方が気軽に訪れやすく認知症介護の事等で相談に立ち寄って頂ける様な開かれたホーム作りを行う。グループホームの存在を更に地域へ発信すべく取り組みをする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。